

宮島地域コミュニティだより 種

平成 25 (2013) 年 1 月発行

編集・発行／宮島地域コミュニティ推進協議会

TEL : 44-2000 FAX : 44-2196

ホームページ <http://ww7.enjoy.ne.jp/~miyajimacc/komyunithy.html>ブログ <http://miyajima1.exblog.jp/>

自主防災会企画会議報告～総合訓練実施を目指して～

平成24年12月18日(火) 18:30～20:30で自主防災会の企画会議を開催しました。自主防災会では、最終の目標として「島全体の防災訓練実施」を考えています。よその地域の防災訓練の様子をDVDで視聴した後、そのような訓練を実現するためには、どんなことをすればいいのかということについて、会長、副会長、各区の代表、民生委員会会長が危機管理課のアドバイスも受けながら、アイデアを出しました。その詳しい内容は、この次のページ、見開きにまとめてありますので、ご覧ください。

目標達成に向けて、3つのステップで歩いていけたらと思っています。

今年度は、まず、第1のステップとして、次のことに取り掛かろうとしています。

1 地区別会議実施

各区の取り組みを進めていく前に、共通のマニュアルがほしいという意見が出ました。各町内の総代が持ち回りのため、引き継ぎも課題になっています。そこで、自主防災連絡協議会のメンバーに加えて、新旧の総代さんにも参加してもらう「地区別会議」を1月～2月に実施して、意識あわせをしていきます。

2 町内ごとに一次避難場所の候補を挙げる。

「一次避難場所」というのは、大きな災害が起こったとき、町内会で安否確認の点呼を取るために集まる避難場所のことです。そこから必要に応じて、最終避難所へ移動します。大きな地震が起こったときは、まず、近くの広場へ。もし、津波の恐れがある場合は、高台へ避難します。

一次避難場所は、災害ごと、エリアごとに決めておく必要があります。各町内で、一次避難場所をどこにするか、避難経路をどうするか、複数の候補を挙げておきましょう。(地形によっては、町内を複数のブロックに分けたほうが良い場合もあります。)また、過去の災害の記憶は、未来への備えにも役立ちます。それぞれの地区で過去に災害があった場所も話し合っておくと良いでしょう。

3 今後の流れ

各町内で出された一次避難場所の候補について、地区別会議で検討を重ねていきます。ハザードマップや過去の災害の記憶などを基に、危険箇所などをチェックしていきます。話し合いの結果を地図に落とすと、地区別の防災マップが完成です。図上の訓練や、実地訓練に生かすことができます。

地区別会議開催予定

<日程調整中>

- ① 他地域の防災総合訓練 (DVD)
- ② 防災マニュアル (自助・共助)
- ③ 防災マップづくり (避難場所と避難経路)
- ④ 各区の予算の使い方

対象：総代 (新旧)、防災委員 (新旧)、民生委員、安心・安全部会員、その他防災連絡協議会のメンバー

防災マニュアル（自助・共助）地震編

〈揺れ始め〉

- 落ち着くこと
- 自分の身を守る。（落下物、倒れてくるものに注意！頭を守る）
- 家族に注意喚起（「地震だー」）
- 揺れが収まるまで、戸外には出ない。（※最寄りの出入口確保。倒壊しそうになったら、外に避難。）

〈揺れが収まったら〉

- 火の元を消す。（ガスの元栓を閉める。電気のブレーカーを切る。）
- 家族の安全を確認する。
- 津波の恐れがないか確認（テレビ、ラジオ等）
- 手早く避難の準備（非常持ち出し袋。長袖、靴、手袋）をして家を出る。
※建物が倒壊しかかっている場合は、そのまま戸外へ出る。
※家族が屋内に閉じ込められている場合は、救助にかかるが、難しい場合は、近隣の助けを呼ぶ。

〈戸外に出たら〉

- 周囲の被害状況を確認する。（建物の倒壊、火災の発生⇒初期消火活動）
- 隣・近所に声を掛け合い、不明者の状況を確認する。
- 閉じ込められている人等の救助（二次災害に注意）
- 戸外に出られない高齢者等を誘導して戸外へ出す。
- 怪我の手当て（止血、応急手当）
※火災、救急の場合、消防署へ通報
- 一次避難場所に避難する。

車が立ち往生すると、緊急車両の通行に支障をきたし、混乱します。
「避難は、徒歩で」が原則です。

〈避難の開始〉

- 自主防災会で決めた一次避難場所に集合する。
- 自主防災会で本部体制を組み、各班で活動する。

「最寄りの場所で、それぞれ避難」が最優先。
離れている家族等の安否確認をする場合は、NTTの災害伝言ダイヤル（171）や携帯電話等の災害時伝言板サービスなどを活用しましょう。

宮島地域では、まだ、自主防災会の班編成までできていません。今後話し合っ
て決めていく予定です。

編集後記

あけましておめでとうございます。

昨年8月に、宮島地域の自主防災会が立ち上がりました。各区の防災委員も選出され、今回、各区の代表者が、今後の方向性を検討しました。その結果を今回皆様にお伝えしています。区ごとの組織づくりが課題ですが、まずは、町内で一次避難場所や安否確認の方法を検討するところから始める必要があります。これから、新年会や年度末で町内の会合が開催されるところも多いかと思いますが、その中で、ぜひ、自主防災会について話し合っただけだったらと思います。ご協力よろしくお祈いします。

自主防災会 会長 木村 力